

平成 28 年度 学校経営における重点取組事項

学校教育目標 「心豊かでたくましく、高い志をもって主体的に学ぶ生徒の育成」

1 本校教職員・生徒の合い言葉「時を守り、場を清め、礼を正す」

☆自分の周りの人を大切に思う気持ちが言葉や行動となって現れる。

「時を守り」・・・遅刻のない学校、チャイムとともに始まりチャイムとともに終わる授業
下校時刻を守ること、会議等の開始時刻厳守、超過勤務縮減

「場を清め」・・・掃除の行き届いた学校、教室・職員室の整理整頓、掲示物や花の管理
掃除をしてくれる人への感謝の念、片隅を見る目、気づく心

「礼を正す」・・・朝の挨拶、来校者や地域の人への挨拶、ありがとう・ごめんなさい
返事、言葉遣い、身なりを整えること、履物をそろえること

2 今年度の重点取組事項

(1) 学力向上

- ① 学習支援加配を中心にプロジェクトチームを編成し、低学力生徒に対する授業への入り込み指導、放課後や長期休業中の個別指導を行う。
→各テスト結果の推移により検証。
- ② 校内研究で生徒が主体的に学ぶ授業づくりをテーマとしている。全教員が研究授業を行い、授業改善を図る。→全教員の研究授業 100%実施。市・県の指導主事を招聘した授業研究会を年 4 回以上実施。
- ③ 英語科を中心に ICT の効果的な活用について実践研究を行うとともに、他教科における ICT 活用についても研究する。→県総合教育センターから講師を招聘し研修会を実施。

(2) 特別支援教育の充実

- ① 個別の支援計画を有効活用するための具体的な手法について研修し、実践する。
- ② 特別な支援を必要とする生徒の言動やその生徒への対応・支援についてエピソード形式で記録し、生徒の内面理解を進める研修会を実施する。→年間 3 回以上の研修会実施。
- ③ 合理的配慮の在り方について検討し、共通実践を図る。

(3) 生徒活動の活性化

- ① 人間関係を築く力を育み、自己存在感を高めるための学年・学級集団づくりに努める。
 - ② 毎月の生徒集会で達成感を与えられるよう支援し、自信を持たせることで生徒会役員のリーダーシップを育成する。
 - ③ 地域や保護者から評価される学校行事を、生徒の企画・運営で成功させるとともに、地域に貢献できる活動を推進する。
- 学校評価にかかる生徒・保護者アンケートにより検証する。

(4) キャリア教育・進路指導

- ① 自分の生き方や将来について、じっくりと考える時間を確保する。
- ② 10 年後のなりたい自分を想像し、それに向けて今何をすべきなのか、2 年後 3 年後に何をすべきなのかを考えさせる。

(5) 地域との連携、地域からの信頼

- ① 学校だよりの町内回覧、学級通信やホームページなどにより、積極的に情報発信するとともに、保護者参観、祖父母参観を実施する。
- ② 地域住民を講師に迎え、郷土料理や伝統文化についての学習を進める。
- ③ ボランティア活動や地域行事への中学生の積極的参加を推進する。

(6) 教職員の超過勤務縮減

- ① 毎週水曜日を定時退勤日とし、職員に時間厳守を求める。→水曜 18 時時点の退勤率 80%以上。
- ② 既存業務を見直すことにより、業務のスリム化と新たな時間の創出を図り、新しい教育活動に取り組む。
- ③ 年次有給休暇の取得率を向上させる。→H27 21.8% H28 目標 25%以上。
- ④ 過重労働、メンタルヘルスについての研修を行う。→年間 3 回以上。

(7) 命の教育・道徳教育・人権教育の充実

- ① 毎月 12 日の「いのちの日」、生徒会の「やさしさの空間宣言」等を通して、自他の命を尊重する生徒の育成を図るとともに、生徒の命を守り抜く教職員の意識高揚を図る。
- ② 道徳の時間以外にも、読書活動や体験活動、ボランティア等に積極的に取り組むことで、様々な経験を通して道徳性や道徳的実践力を高める。
- ③ 全ての関係者の人権が尊重されている教育の場としての学校づくりを目指す。